

狭山市の重点的な4つの取り組み

若い世代を増やす

ひと

まちの活力の源は「人」です。これからのまちづくりには、特に若い世代のエネルギーが必要です。少子化と人口減少の進行を抑制し、持続可能なまちづくりを進めます。



まちと産業に活力を

まち・しごと

元気な産業とそれを支える都市基盤の整備は、これからもますます重要です。快適な都市空間を構築し、産業を活性化し、活気あるまちづくりを進めます。



楽しめる健康高齢社会を

健康長寿

「いつまでも元気でいたい」という願いは誰でも同じです。子どもから高齢者まで健康であることが当たり前となるよう、健康第一の地域づくりを進めます。



市政運営をみんなの力で

協働

行政だけで地域の課題を解決することは、ますます難しくなっています。市民、市民団体、事業者、行政が連携・協働しながら次世代につながる元気なまちづくりを進めます。



安全・安心のまちづくり

複雑多様化する災害や危機には、市だけでなく市民や事業所、地域などがそれぞれの役割を担いし対応することが必要です。地域で活動している自主防災組織や消防団との連携をさらに強化し、安全に安心して暮らせるまちづくりを進めます。



持続可能なまちづくりへ

地方自治体の基本的な役割は「住民の福祉の増進を図ること」であり、これはSDGsの基本理念である「誰一人取り残されない包摂的な社会をつくること」と重なる概念といえます。

令和3年度からスタートする狭山市総合計画後期基本計画についても、このSDGsの視点を取り入れた計画となる予定です。



SDGs（持続可能な開発目標）とは？

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組むユニバーサル（普遍的）なものであり、日本も積極的に取り組んでいます。

